

検査V 音楽

(解答上の注意) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。

- 1 次の文章は、高等学校学習指導要領「芸術 第2款 第1 音楽I」より「2 内容」からの抜粋である。以下の問いに答えなさい。

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(3) 創作

創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を（ A ）すること。

イ （ B ）、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。

ウ （ A ）を生かした創作表現をするために必要な、次の（ア）から（ウ）までの技能を身に付けること。

（ア）（ C ）、変化、（ D ）などの手法を活用して音楽をつくる技能

（イ）旋律をつくったり、つくった旋律に（ E ）な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能

（ウ）音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、（ F ）や編曲をする技能

- (1) 上記、（ A ）～（ F ）に当てはまる適切な語句を答えなさい。

- 2 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

江戸時代、鎖国によって外来文化の影響がほとんどなくなり、日本音楽は自国文化の熟成が続いた。（ア）はさまざまな音楽に用いられ、江戸時代に隆盛を極めた。（ア）音楽は歌い物と語り物に大別される。前者には、地歌、歌舞伎と結び付いて発展した（イ）などがある。後者には、各種の浄瑠璃があり、特に義太夫節は人形芝居と結び付き、①人形浄瑠璃の音楽として発展した。

箏の音楽も盛んになり、いくつかの流派が生まれた。筑紫箏をもとに八橋検校によって箏曲の基礎が築かれ、関西では地歌と結びついた（ウ）が、次いで江戸では浄瑠璃などの要素を取り入れた（エ）が発展した。

また、地歌では（ア）に箏と胡弓を加えて合奏を行うこともあった。この合奏を三曲と呼び、明治になると胡弓に代わって（オ）を加えることが多くなった。

明治から昭和初期にかけて、さまざまな制度の改廃や西洋音楽の本格的な移入によって、日本の伝統音楽に大きな変化がもたらされた。箏曲では、大正中頃に宮城道雄らが邦楽と洋楽を融合した新しい日本音楽の創造を目指した。②この運動は、伝統的な邦楽界に新風を吹き込み、日本音楽発展の契機となった。

- (1) 上記、（ア）～（オ）に当てはまる適切な語句を答えなさい。

- (2) ①「人形浄瑠璃」について、大阪における人形浄瑠璃芝居を別名で何と言うか。漢字二文字で答えなさい。

- (3) ②「この運動」の名称を答えなさい。

検査V 音 楽

3 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

中世において礼拝のために重要な音楽は、今日（ ① ）聖歌と呼ばれている、聖書の言葉などを朗誦した（ ② ）の聖歌である。これらの聖歌はその後、歌詞の変更や別の旋律が追加されるなどして、その数を増加させた。とりわけ、旋律の追加はやがて多声音楽の発達を促した。このような初期の多声音楽は（ ③ ）と呼ばれた。特に、パリの（ ④ ）寺院では、（ ④ ）楽派と呼ばれる修道士たちによる、華麗な（ ③ ）が演奏されていた。また、ヨーロッパ各地では地方の領主が勢力を広げ、宮廷では【あ】が活躍して、世俗的な歌曲を披露した。11世紀末から13世紀にかけてフランス南部を中心に活躍した詩人兼作曲家たちを（ ⑤ ）、12世紀末から13世紀末にかけてフランス北部で活躍した音楽家たちを（ ⑥ ）といった。また、12世紀後半から14世紀初めにかけて（ ⑦ ）はドイツやオーストリアの宮廷で活躍しその作風は（ ⑤ ）と（ ⑥ ）から受け継いでいた。

14世紀になると、多様なリズムが表記できる【い】記譜法が開発され、多声音楽の各声部も、美しくしなやかな旋律となった。この時代の音楽はフランスでは（ ⑧ ）と呼ばれ、イタリアでは（ ⑨ ）と呼ばれた。中世においてフランスとイタリアの両国で開花した音楽文化は、ルネサンスになると、イギリスとフランスの音楽文化が融合したブルゴーニュ公国の首都ディジョンとブリュッセルで開花した。特にブリュッセルでは（ ⑩ ）やバンショワなどの音楽家が活躍した。こうして、フランス北部からフランドル地方にかけての地域は、音楽の先進地域となり、この地にある教会音楽学校からは優れた音楽家が輩出された。その後、フランドル出身の音楽家はイタリアからオーストリア、そして南ドイツで活躍した。

16世紀末から17世紀初めにかけては、バロックの新しい音楽様式やジャンルの開発期にあたり、【う】モノディー様式、劇的様式がおこり、声楽では【え】オペラやオラトリオ、（ ⑪ ）が生み出されるとともに、器楽では、【お】協奏様式を取り入れた作品が書かれた。17世紀後半には、組曲とトリオ・ソナタが完成され、コンチェルト・グロッソとソロ・コンチェルトが創出された。

- (1) （ ① ）から（ ⑪ ）に当てはまる適切な語句を答えなさい。
- (2) 【あ】に当てはまる語句を漢字四文字で答えなさい。
- (3) 【い】記譜法に関する、以下の文章を読み、ふさわしい語句を漢字五文字で答えなさい。

12世紀から用いられていたモードリズムの記譜法に代わって登場した。1260年頃にケルンのフランコによって考えられ、音符の形によって音の長短を明確に示すこの方法は、1600年頃まで使われた。

- (4) 【う】モノディー様式に用いられる伴奏法の名称を漢字四文字で答えなさい。
- (5) 【え】オペラにおいて、この時代を代表する作曲家で、ヴェネツィアのサンマルコ大聖堂の楽長を務め、「オルフェオ」などの作品を残した人物名を答えなさい。
- (6) あるイタリア語は、【お】協奏様式と訳される。そのイタリア語の読みをカタカナで答えなさい。

検査V 音楽

4 別紙楽譜を見て以下の問いに答えなさい。

(1) ア～カで示した音について、以下の①～⑤の組み合わせによる音程を答えなさい。

①アとイ ②イとウ ③ウとエ ④エとオ ⑤オとカ

(2) キ～コで示した和音について、それぞれ所属する調性を全て日本語で答えなさい。

(3) この曲に使われている拍子の種類を漢字四文字で答え、それと同じ種類の拍子を以下の

(a)～(d)より選択して記号で答えなさい。

(a) 2分の2拍子 (b) 4分の5拍子 (c) 8分の6拍子 (d) 8分の4拍子

(4) サで示した音をホルンで演奏するためには楽譜上何の音で記譜すればよいか、

日本音名で答えなさい。(オクターブの区分は問わない。)

(別紙)

Ziemlich langsam
p

Die Lo - tos - blu - me äng - stigt sich vor der Son - ne Pracht,
ディー ロー トス ブルー メ エンク スタイヒト スイッヒ フォーア ディア ソン ネ プラハト
ひ ぎ か り し ぼ め る は ち す の は な ウ

6
und mit ge - senk - tem Haup - te er - war - tet sie träu - mend die Nacht. Der
ウント ミット ゲ ゼンク テム ハウプ テ エア ヴァール テット スイー トロイ メント ディー ナハト デア
よ の か げ ゆ め み つ う な だ れ て ま て り つ

10
Mond der ist ihr Buh - le, er weckt sie mit sei - nem Licht, und
モント ディア イスト イーア ブー レ エア ヴェックト スイー ミット サイ ネム リヒト ウント
き ま ち わ び つ や や さ し き ひ か り に ゆ

コ